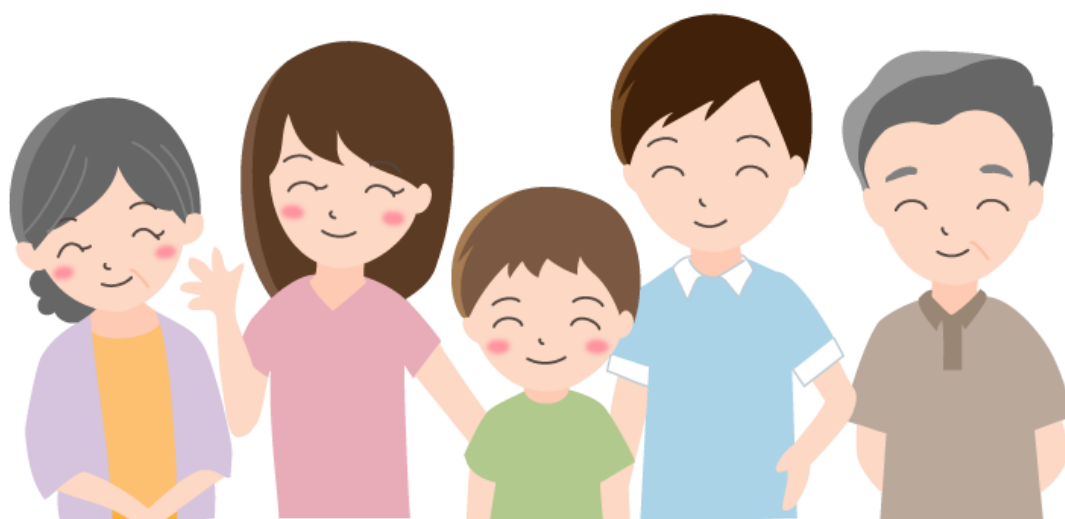


2021 年度
オンライン実践セミナー 初級コース

子どもたちへの支援、家族への支援



オンデマンド配信期間1回目:2021年11月2日(火)~15日(月)
オンデマンド配信期間2回目:2022年2月1日(火)~14日(月)

※本資料内の文字、画像の転載を禁じます。

主催:公益社団法人 日本発達障害連盟

講義内容

講義 1

「家族システムの理解と事例検討の重要性」(2 時間 30 分)

講師:玉井 邦夫 氏

講義 2

「発達障害児の理解と実践」(2 時間 30 分)

講師:佐々木 寛子 氏

(株式会社 グッジョブ 成人支援、乳幼児・学齢支援
宮城教育大学附属学校 専門職講師)

家族システムの理解と事例検討の重要性

玉井 邦夫

大正大学 心理社会学部 臨床心理学科教授
公益財団法人 日本ダウン症協会 代表理事
公益社団法人 日本発達障害連盟 理事

玉井 邦夫（たまい くにお）

教育学修士、臨床心理士（臨床発達心理士、家族心理）

【 略 歴 】

千葉県出身

東北大学大学院修了後、情緒障害短期治療施設にセラピストとして勤務。その後、山梨大学教育人間科学部に着任し、現在は大正大学人間学部臨床心理学科教授、公益財団法人日本ダウン症協会代表理事。公益社団法人日本発達障害連盟理事。日本子どもの虐待防止学会評議員。全国心身障害児福祉連盟評議員。

【 著 書 】

- ・『瞬間をかさねて 「障害児」 のいる暮らし』ひとなる書房 1994
 - ・『<子どもの虐待>を考える』講談社現代新書 2001
 - ・『学校現場で役立つ子ども虐待対応の手引き 子どもと親への対応から専門機関との連携まで』明石書店 2007
 - ・『ふしぎだね!?ダウン症のおともだち 発達と障害を考える本』ミネルヴァ書房 2007
 - ・『特別支援教育のプロとして子ども虐待を学ぶ』学習研究社 2009
 - ・『発達障害の子どもたちと保育現場の集団づくり 事例とロールプレイを通して』かもがわ出版 2009
 - ・『ダウン症のこどもたちを正しく見守りながらサポートしよう!』日東書院本社 2012
 - ・『本当はあまり知られていないダウン症のはなし』LD協会・知識の森シリーズ 2015
 - ・『エピソードで学ぶ 子どもの発達と保護者支援』明石書店 2018
- 他

(共著)

- ・『発達障害白書 2020年版、2019年版、2018年版、2015年版、2014年版、2013年版、2011年版、2010年版』明石書店
 - ・『公認心理師現任者講習会テキスト 2018年版』金剛出版
 - ・『教育の最新事情がよくわかる本3』教育開発研究所 2016
 - ・『心理臨床講義』金剛出版 2015
- 他

公益社団法人日本発達障害連盟主催
令和2年度 支援者を伸ばすオンライン実践セミナー【初級】



家族システムの理解と 事例検討の重要性

2021.1.15～30
玉井邦夫（大正大学）

1

発達支援と保護者支援

～障害受容／子ども受容の重要性～



子どもの発達支援と保護者支援：本質的には異なる営み

2つの「支援」が一致する前提条件

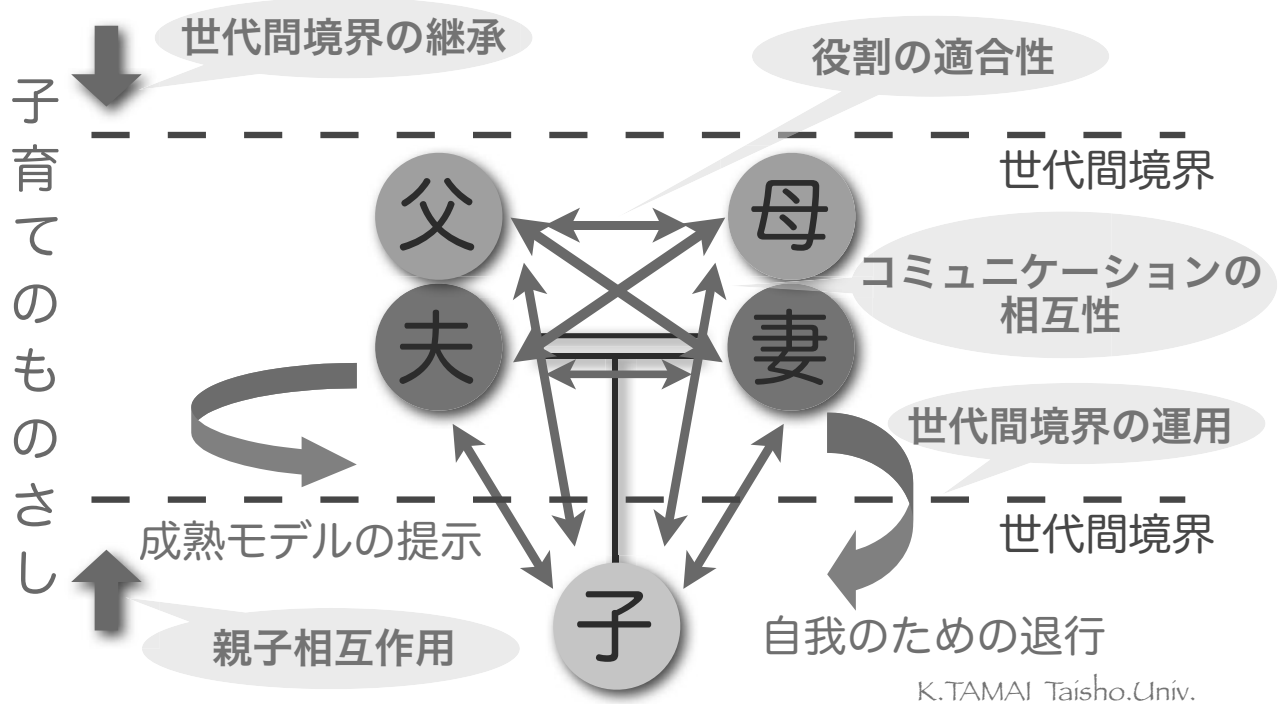
＝ 《子どもが登るべき発達の段階のありか》について、
保護者と支援者が一致している

子どもの発達支援は絶対的な「前提」→織りなし

K.TAMAI Taisho.Univ.

家族システム

～「ひとまとまりの生き物としての家族」を見る視点～



親子のキャッチボール



K. TAMAI Taisho. Univ.

障害受容・子ども受容

「適応」

支援の排除による困り込み
「保護者」をアイデンティティとってしまう状態

絶 望

あきらめとネグレクト
表面的な「受容」による過小評価

否認・怒り

診断の拒否と心理的ひきこもり
「普通になればいい」というスパルタ

喪 失

障害受容は「加算」ではない（時間）
障害は「喪失」ではない

障害受容への支援は、具体的な「うまくいく方法」
として課題設定されていること（支援の操作的定義）

ただし、受容とは波状に続く終わりのない課題

K.TAMAI TaishoUniv.

「受容」の土台を築く

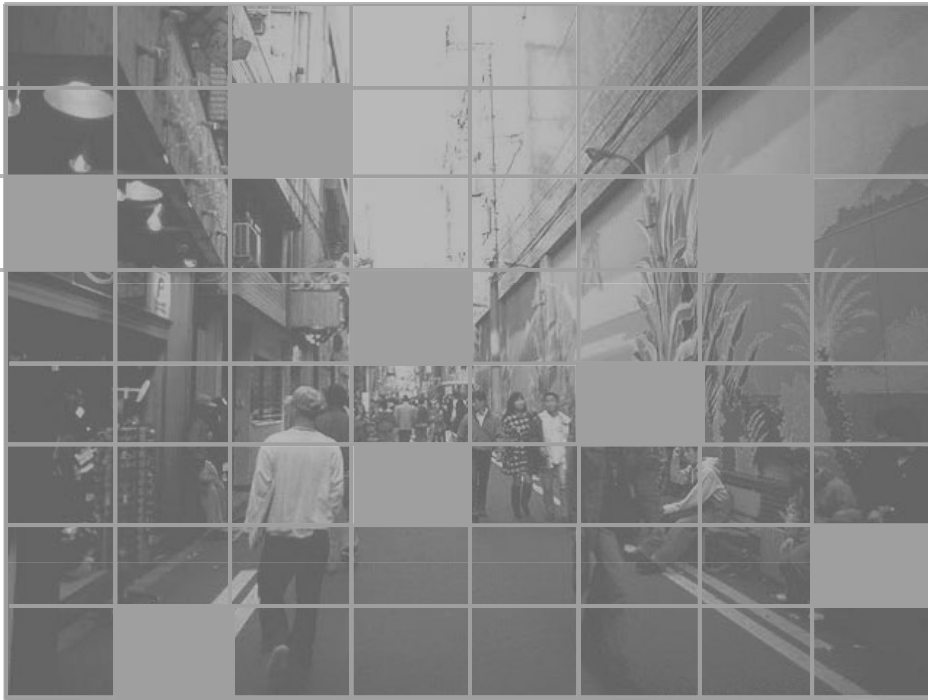
「受容」を促す支援とは、「悟り」への導きだけではない。操作的に定義された具体的な「成功体験」の蓄積が必要。それが、相手に水準を合わせるという心理機能の練習になる。

- 親子関係は「同い年のキャッチボール」
- 「能力」から「やり方」への語りの転換
- メカニズムを説明するコミュニケーション力
- 「どこへ行きたいか、どうなりたいか」：行動目標
- 「目標」と「やり方」のすりあわせ

K.TAMAI Taisho.Univ.

発達障害・知的障害の理解①

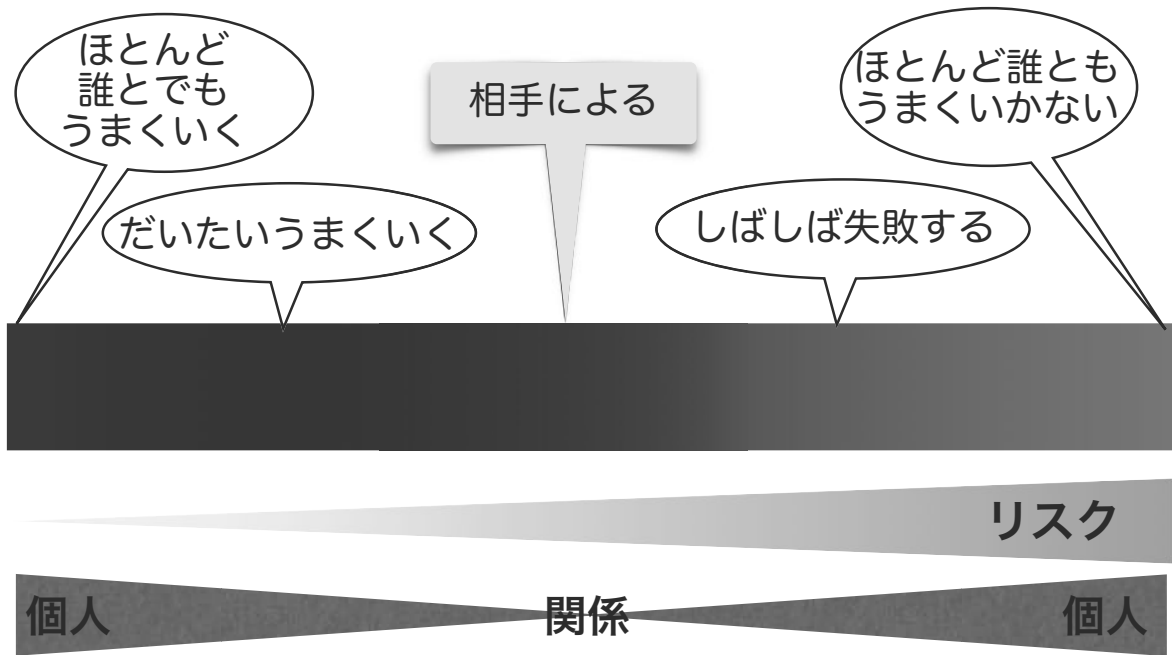
～適応に必要な情報の処理という側面から～



K.TAMAI Taisho.Univ.

発達障害・知的障害の理解②

～「濃度」という側面から～

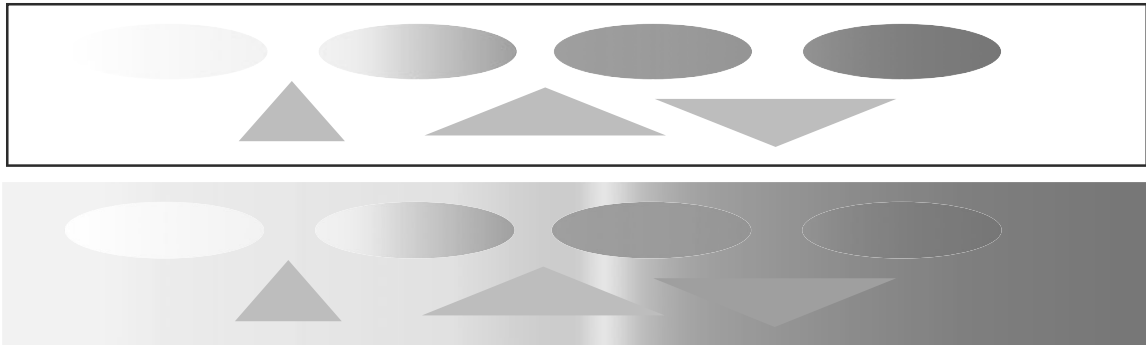


「原因」のありか

K.TAMAI Taisho.Univ.

発達障害・知的障害の理解③

～「リスク」という側面から～



● 「発達障害」とは「リスク」

- 能力の偏り、得手不得手、好き嫌い、それは誰にでもある
- ただし、それを「個性」と括って済ませるにはあまりにもリスクの高い人たちが存在する
- リスクは、単純な能力の高低や診断名では決定されない
- リスクの克服を本人努力にのみ頼ることは、むしろ将来的な社会的コストを
K.TAMAI Taisho.Univ. 引き上げてしまうこともある

認知の地図という考え方

～支援の基盤・事例検討の重要性～

- 人間は、一人ひとりすべて違う「認知の地図」を作る。
- 一人ひとりの地図ができあがっていくときには、ある程度共通した「でき方」がある。
 - 共通の「でき方」が、私たちに「考えなくてもわかる」コミュニケーションの基盤を提供している。
- それでも、その「でき方」は、経験を積んでいくごとにどんどん「その人オリジナル」になってゆく。
- 人間は、いつでも自分の地図の上で困る。
 - 発達障害をもつ人の多くは、ルールを「超越性」として呑み込む
 - 子どもの地図が理解できなければ、保護者は苦しむ。

K.TAMAI Taisho.Univ.

さまざまな「ずれ」への配慮

- 対応するのは「保護者の不安」か「子どもの実態」か
- 「能力」から「やり方」への転換を図る
- 保護者の時間軸
- きれいな名詞には気をつけること。名詞化されたプロセスに引き戻す
- 目標は「保護者自身の行動」に設定されているか
- 「困り」を訴えているのはどの家族内役割なのか
- 「障害児の親」に関する文化的バイアスの存在

K.TAMAI Taisho.Univ.

発達障害児の理解と実践

佐々木 寛子

株式会社 グッジョブ 成人支援、乳幼児・学齢支援
宮城教育大学附属学校 専門職講師

佐々木 寛子（ささき ひろこ）

作業療法士、発達支援コーチ、介護支援専門員

【 略 歴 】

作業療法士になり 22 年目。精神科の作業療法、老年期の作業療法、身体障害の作業療法を経て、発達障害の作業療法を行って 8 年目になります。仙台市の発達相談支援センター、被災地の専門職派遣事業、重症心身障害児の放課後デイサービスを経験し、現在は、多賀城市の児童発達支援センター、気仙沼市の多機能型施設（児童発達支援・放課後デイサービス・日中一時支援・ショートステイ・生活介護）、宮城教育大学付属の幼稚園・小学校・中学校の気になる子の支援、株式会社グッジョブ仙台（就労支援センター、インフォーマルサービスで発達学習支援塾）に勤務しています。

【 学会発表 】

宮城作業療法士協会学会

「作業療法士になって 1 年目の考察」

全国作業療法士協会学会

「高齢者ケアにおける医療事故対策～リスク把握（報告）という視点での検討」

「認知症高齢者と家族への虐待防止のための介入」

「音楽活動を用いた作業療法の実践」

感覚と脳の機能について
～寝つきが悪い・じっとしてられない・姿勢が悪い・不器用～

原始的な反応が強いと、脳は扁桃体で快、不快を感じ、この人は敵か、味方か。自分にとって害があるのかなのか。逃走か闘争かを瞬時に判断します。延髄を通り交感神経を働かせるように脳下垂体へ信号を送り、副腎刺激ホルモン糖質コルチコイドを分泌させます。戦うホルモンを出し続けると、体が炎症反応を起こし、力を抜けないリラックスできない体になっていきます。フラッシュバックは、扁桃体に記憶固定の働きがあり恐怖を感覚とともに記憶するのも一つの要因だと思います。

自律神経には、交感神経（興奮）と、副交感神経（リラックス）があり、動眼神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経は副交感神経です。リラックスが上手く働かないと、目の動きが悪い、表情が読み取りにくい、ゆっくり味わって食事が出来ない、消化系の弱いなどの症状が出てきます。発達障害の子の多くが、自律神経のバランスが上手に機能していません。リラックスできない体が当たり前になる前に支援していくことが大事だと感じます。

① 呼吸、②感覚、③動きと姿勢の順番に説明していきたいと思います。

① 呼吸を整える事は発達の土台です。呼吸筋は、頭から臀部までの筋肉を使います。最近口呼吸する子が増えています。口呼吸は浅い呼吸になり過呼吸になりやすく、交感神経を高めます。菌が入りやすくなります。鼻呼吸は深い呼吸となり、副交感神経を高めます。ストレスに立ち向かえる体になります。菌が入りにくいです。呼吸動作で、鼻呼吸をする場合は上あごに舌がついています。ADHDのお子さんは、瞬発力がありますが、持久力がないことが多く、自閉症のお子さんは、持久力がありますが、瞬発力がないことが多いです。瞬発力を使う、風船を膨らませること、持久力が必要な、ふきもどしや楽器を吹くことなど、呼吸遊びを様々考え取り入れていきましょう。

② 感覚、触覚の受容器は皮膚で、主な働きは、情緒の安定、触覚防衛、識別、身体地図の把握などがあります。正常な触覚は、温かい、硬いなど触ったものを識別するセンサーを持ち、危険な時に、瞬時に命を守る原始的なセンサーに切り替わります。（蜘蛛を振り払うなど）しかし、触覚過敏がある子は原始的なセンサーが常に働き、扁桃体が不快と感じ続けてしまいます。その状況が四六時中続くことで、識別するセンサーが働かず、経験不足となってしまいます。過敏があることで、親の愛情を受け取る事や、親に愛情を伝える事が難しくなります。そのため、人に触ってもらおうと気持ち良い、安全と肌で感じる事がとても大事です。過敏の強いお子さんの運動評価を行うと、背中や、仙骨など体の背面を触ると過敏が出ないことが多く、一定の圧をかける、程よく揺らすと気持ち良さを感じ、副交感神経が働き、眠気が出てくることが多いです。

前庭感覚の受容器は、三半規管や耳石器で、種類は、身体の揺れや傾き、重力、スピードを感じる感覚です。主な働きは、覚醒の調整、情緒の安定、抗重力姿勢、バランス、眼球運動を発達させるのに必要な感覚です。過敏な子は、揺れに対して強い拒否があり、鈍感な子は、常に体を動かし続けます。運動評価の中に、回転後眼振がありますが、鈍感な子は、回転させても目がまわる反応が出にくいです。動いても脳の中では動いていると認知されず、バランスを崩す感覚も分からずに、転んでびっくりすることもあり、いくら回っても目がまわらないことは、眼球運動の育ちにくさにもつながります。作業療法士の相談の中で、揺さぶられっ子症候群のニュースを見て、3歳になっても揺らさないように気を付ける親御さんが多い時期もありました。お父さんに抱っこされて、高い高いや飛行機ブーンは楽しい活動で交感神経が優位になり、お母さんに抱っこされて、一定の優しいリズムでのトントンする

揺れは、副交感神経が優位になり、心地よく眠る体験を繰り返し、様々な揺れ遊びを体験することが幼児期は特に大事です。

固有受容感覚の受容器は、筋肉と関節です。種類は、身体の位置、動き、力の入れ具合を感じる感覚です。主な働きは、覚醒の調整、情緒の安定、力加減、運動コントロール、抗重力姿勢、バランスなどです。過敏のお子さんは、関節や筋肉を動かすことを拒否し、鈍感なお子さんは、関節や筋肉を動かしても感じにくいことが多く、おしっこがたまる膨満感、おしっこが空になった感覚が感じにくかったり、おもちゃを壊すことが多かったりし不器用と呼ばれることが多いです。

③ 姿勢では、ストレートネックや、巻き肩、猫背になると頭痛、腰痛、不器用、便秘、消化不良など身体症状が多く出てきます。うつぶせはリラックス姿勢です。深い呼吸、循環が上がる、基礎代謝が上がるなど効果があります。

手の巧緻性については、見つめ続ける、動いたものを見つめ続ける。体幹が安定している、肩甲骨が安定している、上腕の安定、前腕の安定、前腕がねじれる事、握り続ける、手首の安定と動き、全指の安定性と、親指と人差し指と中指の動作性が必要になります。公園での遊具遊びやダイナミックな遊びを繰り返し行い、制作遊びが楽しめる体を育てていきましょう。

集団の発達について ～母子の愛着関係から～

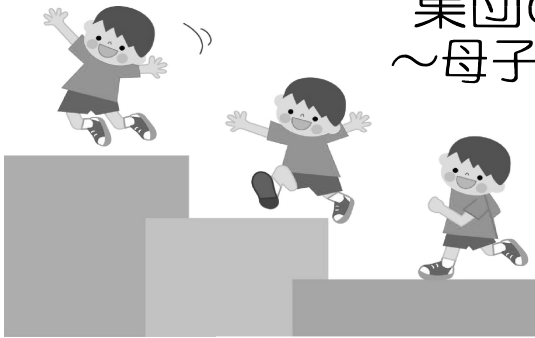
母が妊娠した時から母と子の関係が始まります。「程よい母」との関係が、愛着・基本的信頼関係を育てます。父との三者関係の始まりは、生活の基本となる集団の始まりで、家族が「程よい環境」として働くと、自立を支える基盤となります。並行集団は1歳半から2歳あたりで、母から離れて一人遊びが出来るようになり、他の子が遊んでいるおもちゃが楽しそうに見え、おもちゃの取り合いになります。他者との適切な距離の学びの芽生えです。

短期課題集団は2歳から4歳で、ごっこ遊びが始まります。集団遊びを通して人は自発性が育っていきます。ごっこ遊びはメタ認知機能の成立と関連が深く、幼いときの自然な仲間との遊びの欠如は成長過程の欠如になり未熟な対人関係につながり、メタ認知の育ちの悪さが発達障害の子に多く対人関係の支障につながります。

終わりに、感覚の過敏や鈍感さが幼少期に和らぐと対人関係に広がりが出てきます。子供の理解者が増えると、子供たちの笑顔が増えます。成人期に、ストレスに負けない体を作るためには、幼少期のかかわりがとても大事になります。

前半
感覚と脳の機能について
寝つきがわるい・じっとしてられない
姿勢がわるい・不器用

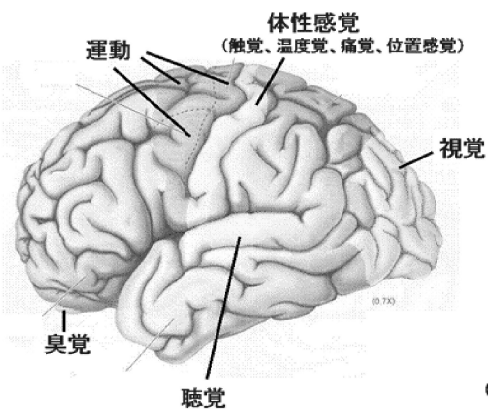
後半
集団の発達について
～母子の愛着関係から～



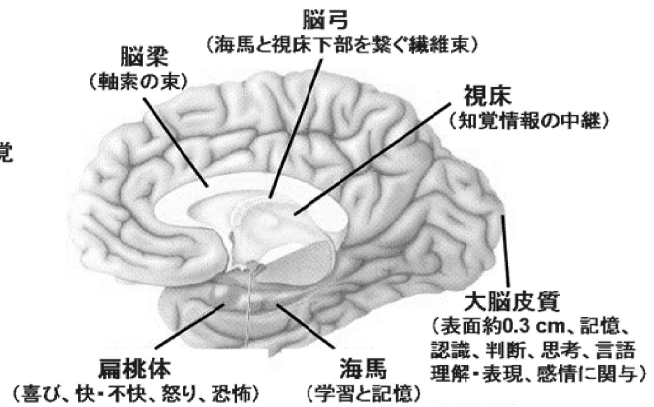
日本発達障害連盟オンラインセミナー
作業療法士 佐々木寛子

感覚と脳の機能について
寝つきがわるい・じっとしてられない
姿勢がわるい・不器用

大脳の構造と機能分担



側面図



断面図

(ベアー、コノーズ、パラディーン著、神経科学より作成)

原始的な反応が強いと脳と体はどうなっているの？

脳の働く場所 → 扁桃体

- 扁桃体は、【快、不快や恐怖】の判断中枢で特に恐怖の表情を読み取ります。
- 扁桃体は、【記憶固定】の調節にも関わっています。
- 自閉症の子がフラッシュバックするのは、扁桃体が過敏に反応しているのも原因の一つです。

この人は、敵か味方か？

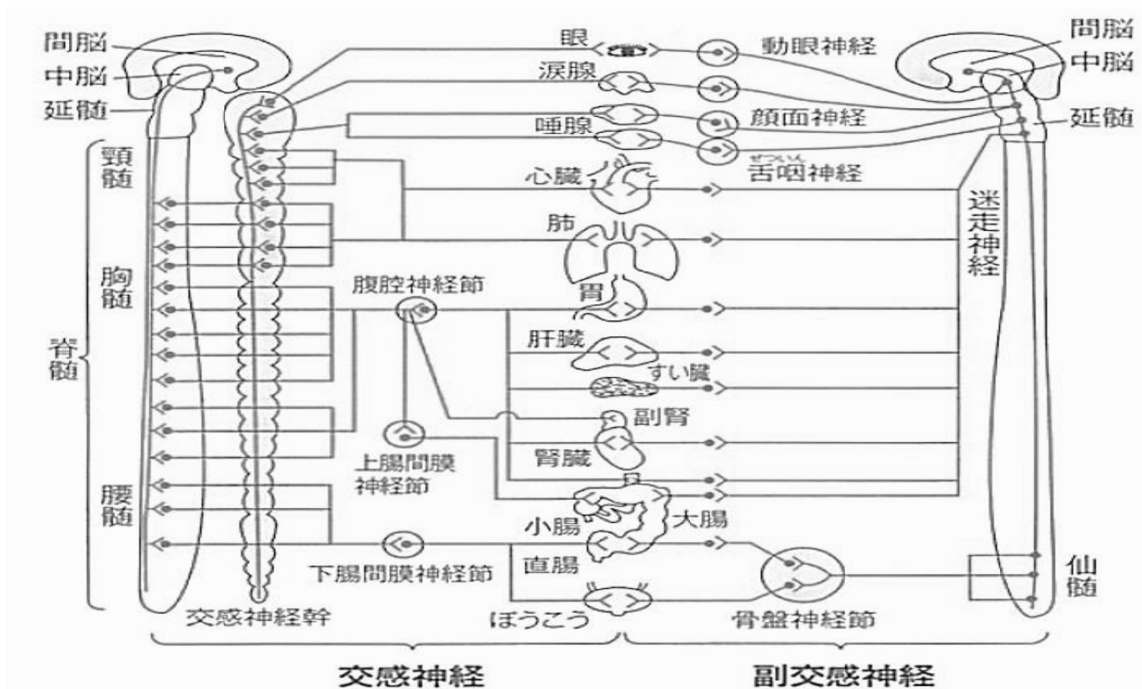
この人は、自分にとって害があるのかないのか？

逃走か闘争かを動物のように瞬時に判断します。

ストレス信号と脳 ～扁桃体について～

1. 扁桃体で快不快を判断
2. ストレス(赤信号・・・)
3. 延髄を通り交感神経へ
4. 脳下垂体へ信号をおくる
5. 副腎皮質刺激ホルモン糖質コルチコイド分泌
6. 交感神経が働く（闘争か 逃走か）

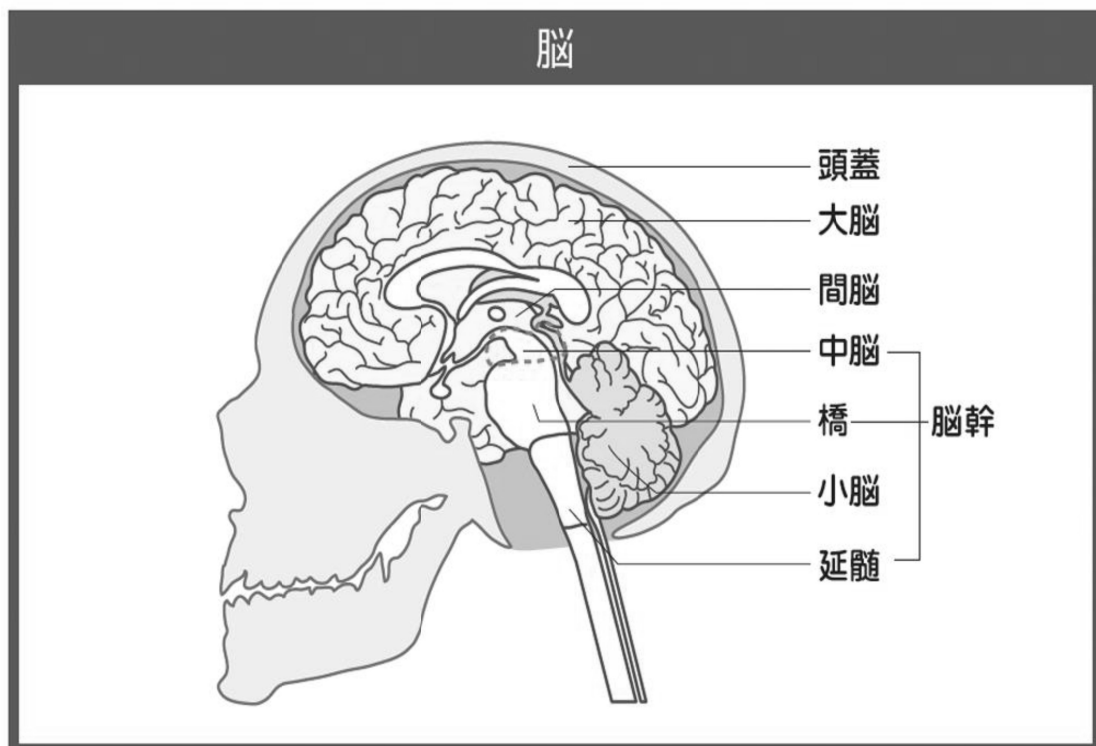
交感神経と副交感神経

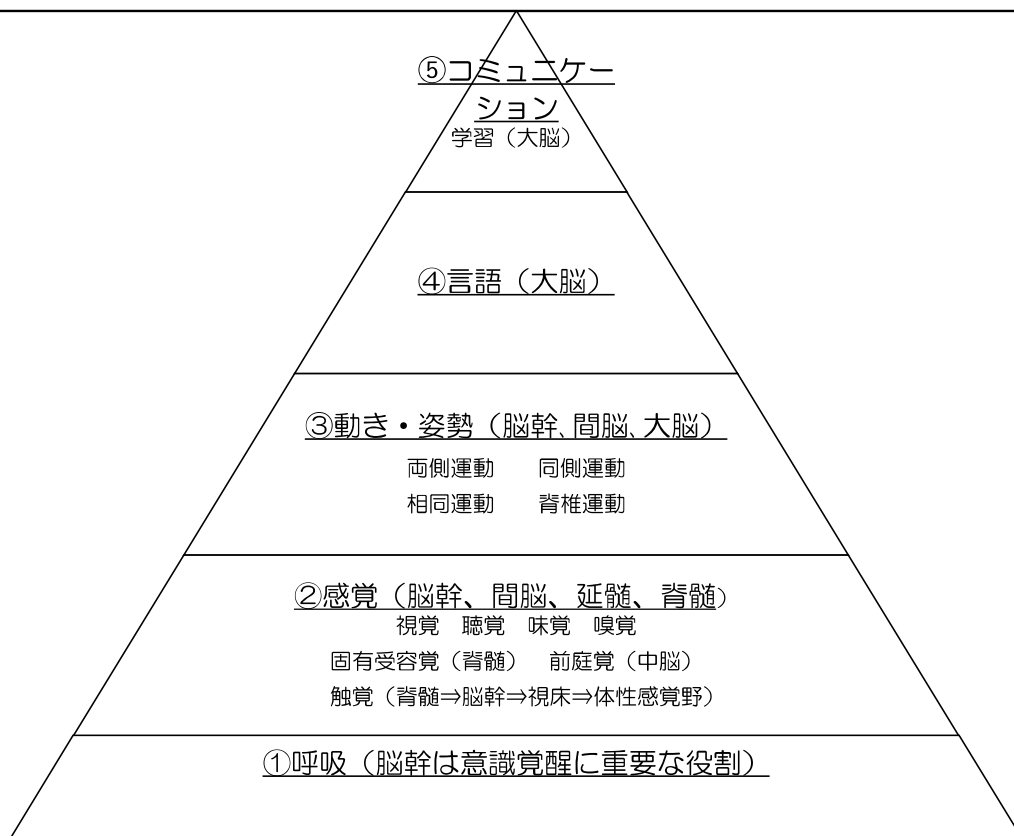


発達の子の相談で多い行動面

- じっとしてられない、グルグル回る、よく動くのによく転ぶ
- 寝つきが悪い、昼寝ができない、眠りが浅い
- 触られることが嫌い、抱っこされるのが嫌い
- 風の音、ピストルの音が怖い
- こだわりがあり、同じあそびばかりする
- 姿勢が悪い、ゆらゆら揺れている
- パニックになる
- 手先が不器用など

リラックスできない体が当たり前になる前に支援したいこと





動きの土台は ①呼吸

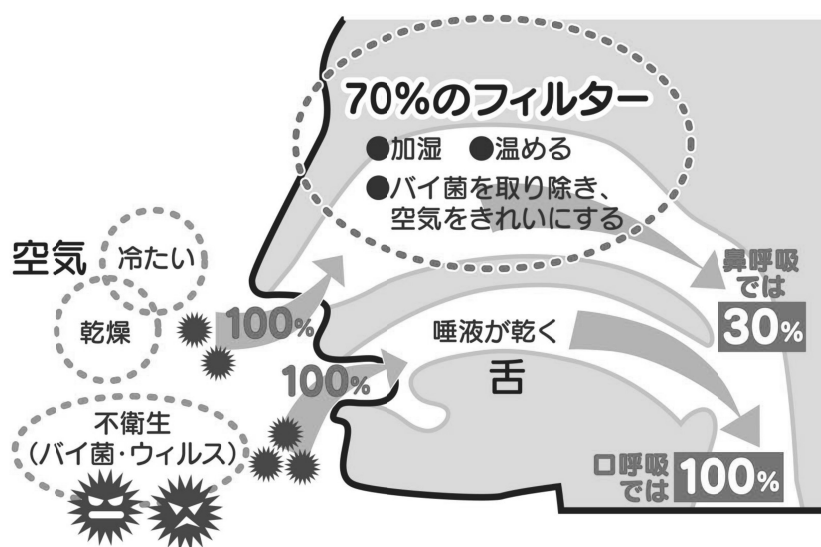
最近鼻呼吸をする子が少なり口呼吸をする子が増えてきました



鼻呼吸は副交感神経を高めます

- 呼吸を整えると、自律神経の副交感神経が働き身体をリラックスさせることができます。（成人支援では、片鼻呼吸、丹田呼吸、ドローインなど行っています。キラーストレスから来るゴースト血管の予防にもなります。）
- 口呼吸は浅い呼吸になり交感神経を働かせてしまいます。行き過ぎると、過呼吸、興奮、パニックを起こしてしまいます。
- 呼吸が整い、深い呼吸が出来るると発達の土台が成長します。ストレスに立ち向かえる体になります。

口呼吸と鼻呼吸を比べると・・・



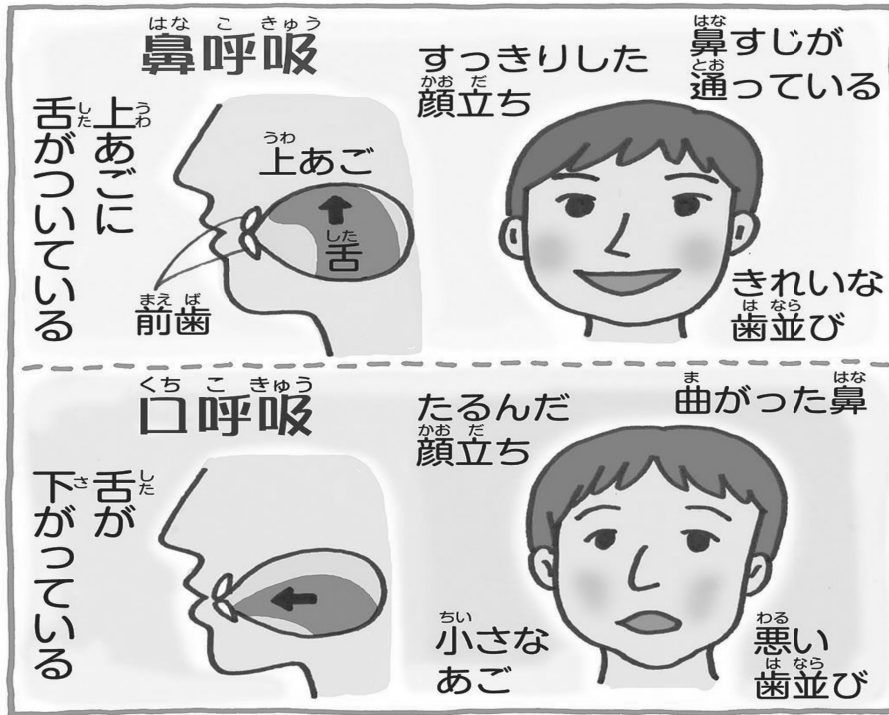
口から呼吸してみよう

何処の筋肉が動いていますか？
舌の位置はどこにありますか？

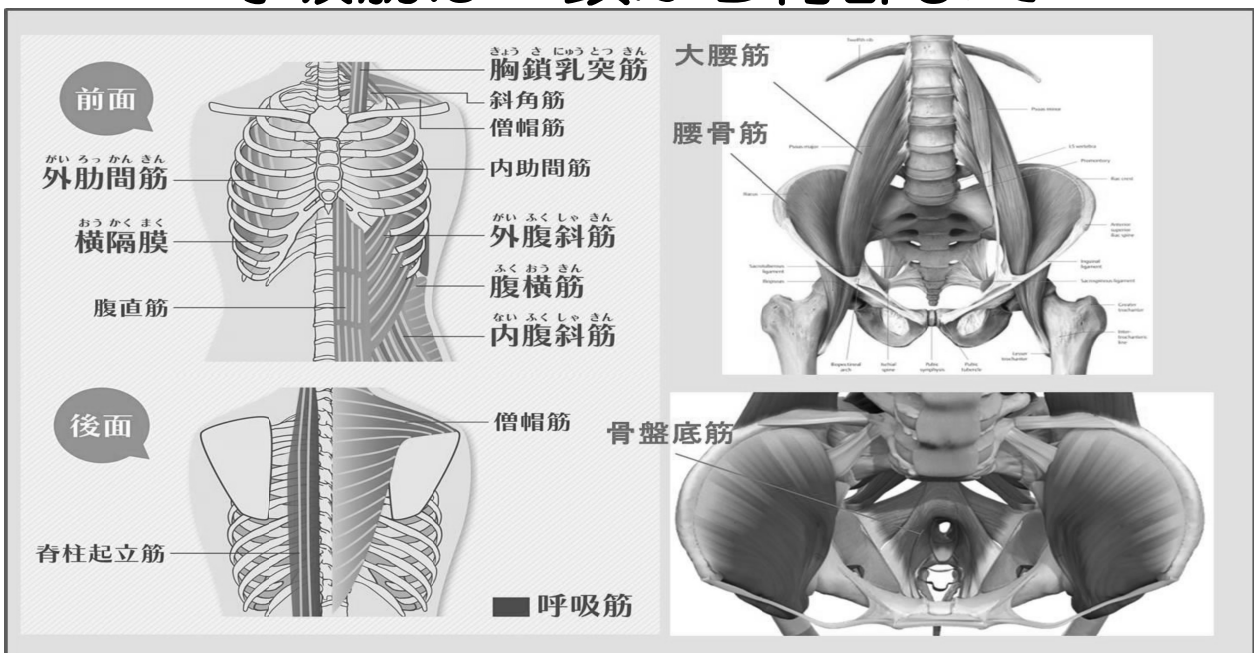
鼻から呼吸してみよう

何処の筋肉が動いていますか？
舌の位置はどこにありますか？

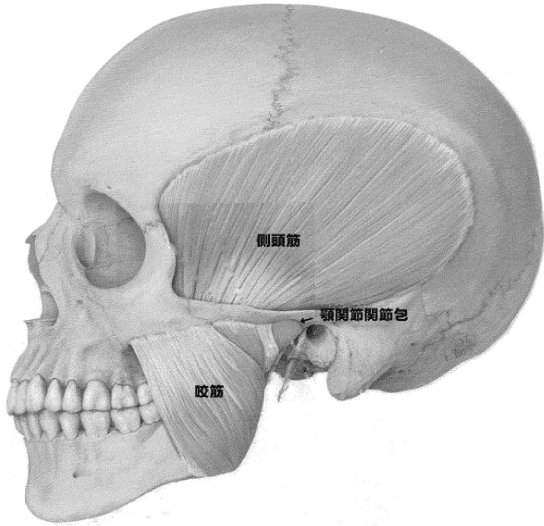
舌の正しい位置は下ではなく上です(*^_^*)



呼吸筋は～頭から臀部まで～



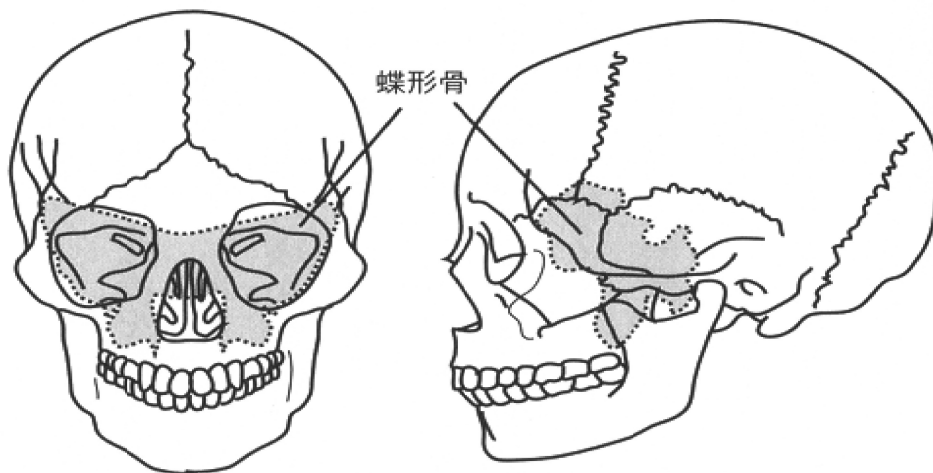
使いすぎも使わな過ぎも
どちらも
まずはコリをほぐそう



歯ぎしりが多い
口が半開き
よだれが多い
鼻が詰まっている
無表情、覇気がない
表情が燃えたぎっている!

程よく動かせない時にコリが必ず存在します。

もう少し深いところを見てみよう



蝶形骨とはまさに名の通り蝶のような形をしている骨
この骨が私たちの大切な脳を乗せている

コリをほぐし 蝶形骨を少し持ちあげて呼吸をしてみよう

- ① 側頭筋など頭の筋をもみもみ、包み込む
- ② 眉毛のあたりの前頭筋、表情筋をもみもみ、包み込む
- ③ 咬筋をもみもみ、包み込む
- ④ 耳を引っ張ってみよう

蝶形骨は、眉毛の先端の少しへこんだあたりです

- ⑤ 少し押して呼吸してみよう
- ⑥ 重力を無くすイメージを持って包み込み、持ちあげて呼吸してみよう

呼吸遊びを考えよう

- ・瞬発力を育てよう（最大筋力を使って一気に呼吸）
- ・持久力を育てよう（一定の強さで持続的に続ける呼吸）

呼吸リハビリでは、吸気（鼻呼吸）呼気（口をすぼめて吸気の2倍はく）吐ききることが大事です。しっかり吐くとしっかり吸えます。

楽に呼吸できることで脳に余裕が生まれます

①図をもう一度、見てみましょう

呼吸は土台です (^^)/

重心の子のリハビリでは、まず呼吸リハビリをして遊びをします。

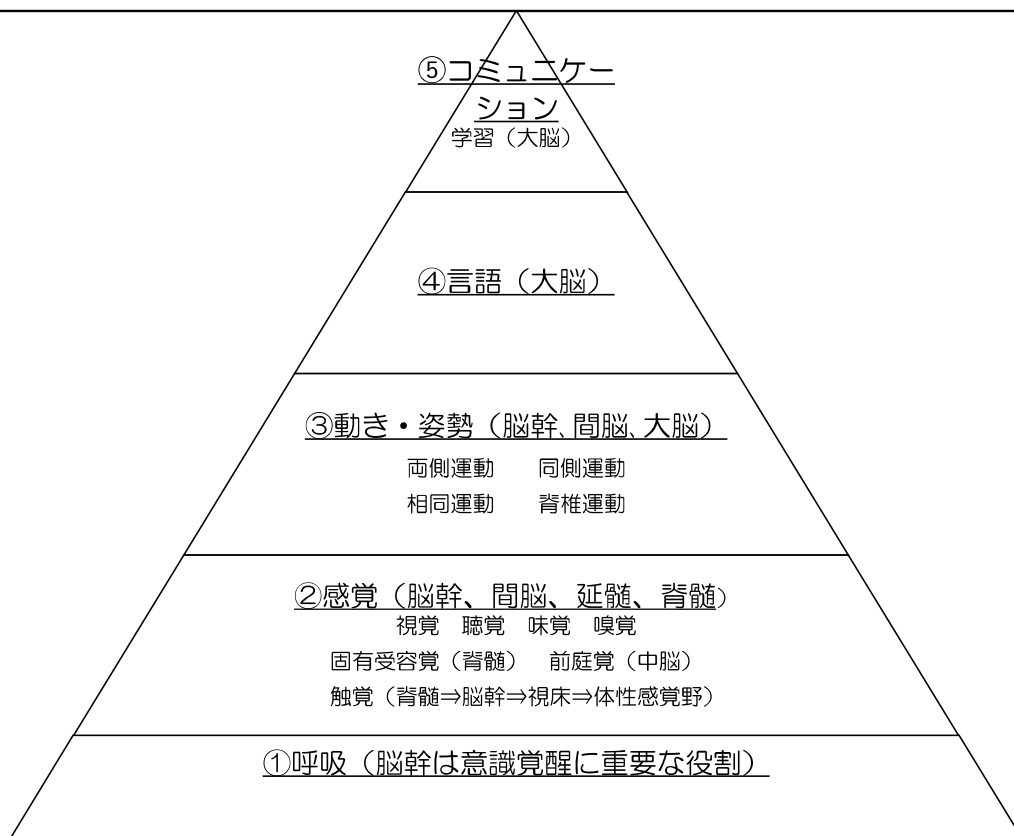
呼吸のまとめ

呼吸は発達の土台です(^^)/

呼吸遊びを日々の生活に取り入れ持続することで、いざという時に（パニックになったときに）力を発揮します。

じっとしてられない（浅い呼吸、鼻詰まり）寝つきが悪い（呼吸のリズム、自律神経、感覚過敏）





②感覚を体験しよう

触覚

受容器 ：皮膚

種類 ：触れたを感じる、温度、痛み

主な働き：情緒の安定、防衛、識別、身体の地図の把握

(過敏) ⇒人のタイミングで触られるのが恐怖など

(鈍麻) ⇒常に何かを触りたいなど

正常な触覚って何だろう・・・

- これは何だろう→触る→暖かい、つるっとしている、固いなど触ったものを識別するセンサー
- 危険な時に振り払うなど、瞬発的に命を守る原始的（防衛）なセンサー。（例：クモが手を這う、瞬時にクモをはらい避ける）

普段は識別するセンサーが働いていますが、危険な状況では、原始的なセンサーに切り替わるのが正常な触覚です。しかし、触覚過敏のある子は、原始的なセンサーがバリバリ働いている（交感神経）、識別するセンサーが鈍いなどの不都合が出ています。

触覚の影響で落ち着かないように見える

過敏だと…

四つ這いになり、雨が当たらない部分に過敏を持つ事が多いです。
シーツ、タオル、人の触感が嫌で寝つきが悪い。
耳かき、歯磨き、爪切り、散髪などの抵抗。
舌触りの悪いものは食べない。
抱っこを嫌がる、靴下、マフラー、帽子を付けたがらない。
風が皮膚に当たると痛い、シャワーが痛い。ぬれることが嫌などなど

鈍感…

過度になんでもさわる（粘土、泥、人）
けがをしても感じにくい、過度に強く抱きしめて欲しがる。
なんでも口の中に入れる。よだれに気付かない

触覚を育てよう

1. 人に触ってもらって気持ち良いと肌で感じ安心する事が大事です。（愛着関係、二者関係のはじまり）
 2. いろんな材質の物を触りましょう。べたべたが嫌いな子には、サラサラの米、豆など手から離れ安心して触れるものから試してみましょう。
- 指先だけでなく手の平全体で行うことが大切です。手で支える力を育てます。

②感覚を体験しよう

前庭感覚

受容器　：三半規管、耳石器

種類　　：身体の揺れ、傾き、重力、スピードを感じる

主な働き：覚醒の調整、情緒の安定、抗重力姿勢、バランス、眼球運動、
身体の機能の把握

（過敏）⇒揺れに対して強い拒否

（鈍麻）⇒常に体を動かし揺れ続けている（多動の背景）

②感覚を体験しよう

固有受容感覚

受容器 : 筋肉、関節

種類 : 身体の位置、動き、力の入れ具合を感じる

主な働き : 情緒の安定、力加減、運動コントロール、抗重力姿勢、バランス

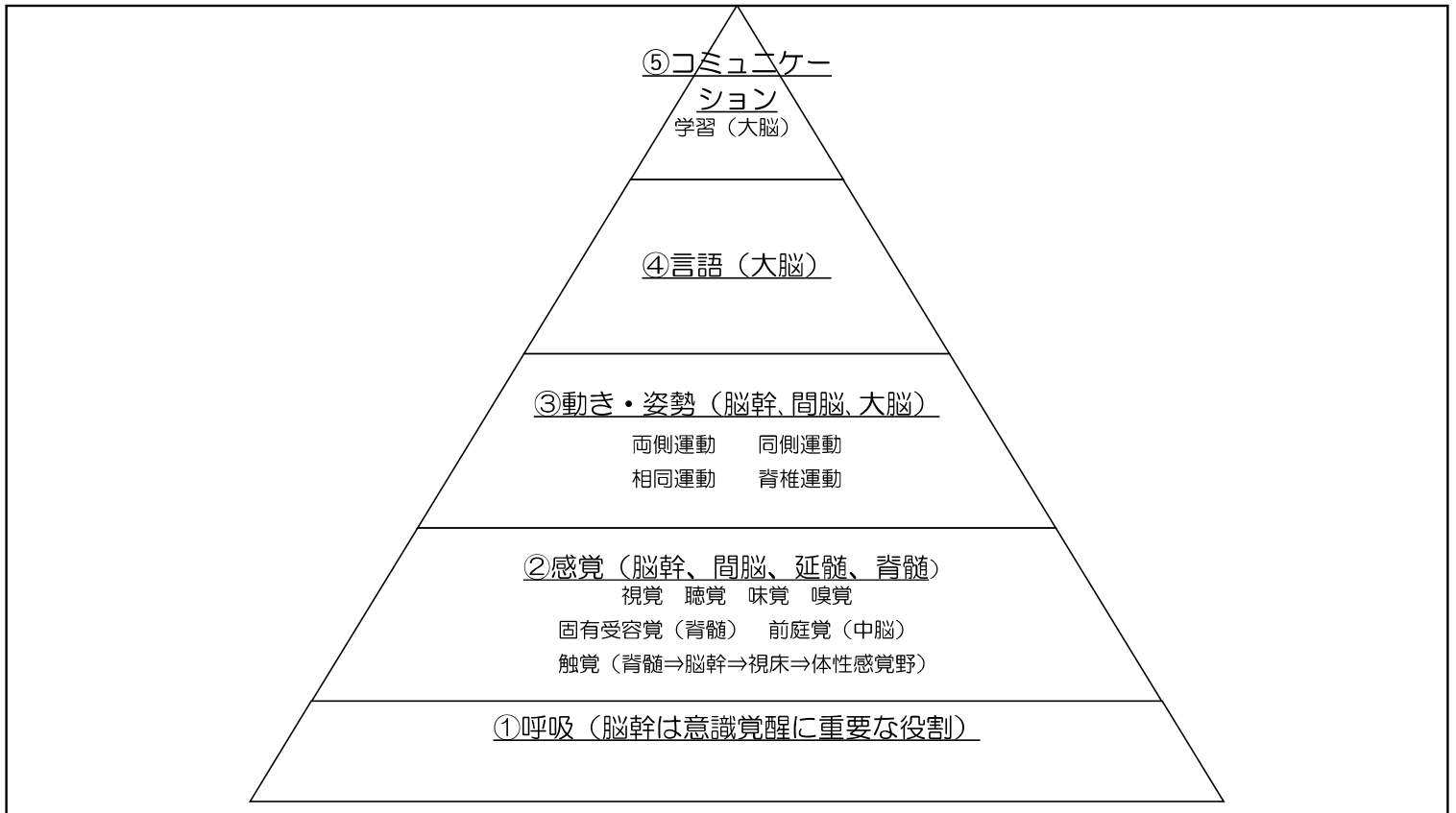
(過敏⇒関節や、筋肉を動かす事を拒否)

(鈍麻⇒関節や筋肉を動かしても感じにくい)

前庭覚、固有受容感覚、触覚を育てよう

- ブランコ
- トランポリン
- すべり台
- 回転盤
- そりすべり
- 高い所からジャンプ
- 前転、後転、側転
- よじ登る
- 這い這い、手押し車
- スクーターボード
- ハンモック
- マットに包まる
- くぐる
- またぐ
- ボールを蹴る
- 平均台
- しがみつく
- お相撲
- ジャングルジム
- コンビカー
などなど





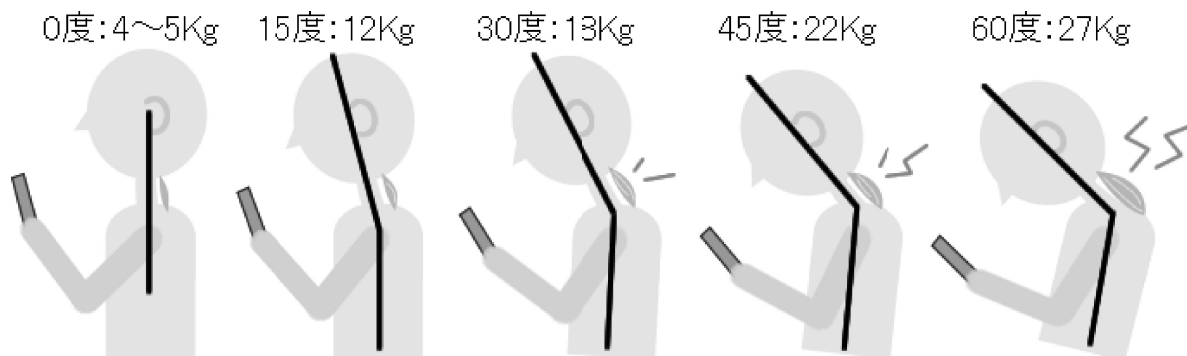
③姿勢が悪いと・・・

不器用、頭痛、肩こり、腰痛、ひざ痛、便秘、消化不良

免疫力低下、循環が悪い、自律神経が整わない、側弯

などなど、身体に様々なサインが現れます・・・

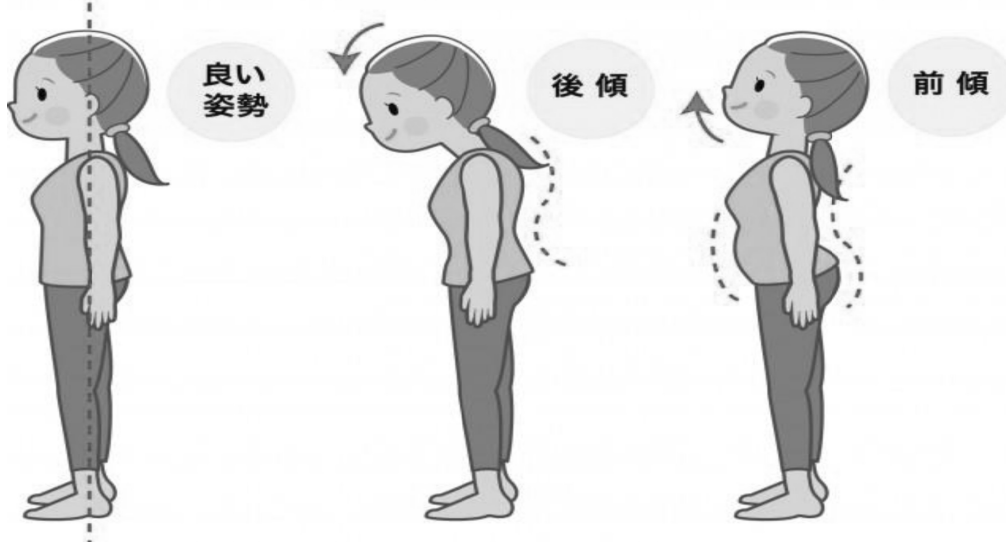
③姿勢 ストレートネック、巻き肩、猫背について 簡単な触覚アプローチ



③姿勢・触覚アプローチを体験しよう

正しい姿勢に撫でるだけです

- 評価：両手を前に合わせて体幹を回旋しましょう
- 良い姿勢になるように撫でます
- 再評価：両手を前に合わせて体幹を回旋しましょう



うつぶせはリラックス姿勢です ～リハビリでは腹臥位療法を用いることがあります～

身体の変化

- 全身が緩み、余分な筋肉の緊張がリセットします。
- 背中側の肋骨が広がり、深い呼吸をしやすくなります。
- 血液など、体液の循環が良くなります。
- 呼吸に関する筋肉の動きが良くなり、基礎代謝が上がります。
- 肩甲骨、背骨、股関節が伸ばされ、体幹の配置（位置関係）が整います。

うつぶせになり（姿勢）、背中や仙骨に触り（触覚）、
程よくゆらゆら（前庭覚）、程よく圧迫（固有覚）でリラックス

③動き 手の巧緻性について



- 見つめ続ける事（中心視）
- 動いたものを見つめ続ける事（追視）
- 体幹が安定している事
- 肩甲骨の安定性
- 上腕の安定性
- 前腕の安定性
- 前腕がねじれる事
- 握り続ける安定性
- 手首の動き
- 手首の安定
- 指の動き
- 親指の安定性
- その他の指の安定性
- 親指、人差し指、中指の動作性
- 薬指、小指の安定性

今、「流行」している発達障害

私は、巡回相談で保育園、幼稚園に行きます。日々、発達障害の理解が進んでいると感じています。

しかし、子供はじっとしてられないし、空気が読めないのが普通です。座り続けさせ、言うことを聞かないから発達障害ではありません。

幼少期に、たくさん体を動かし、自分の身体をたくさん触り、自分の体を触ってもらい（じゃれあい）、人にたくさん触ってもらうことで、自分の身体をコントロールする力が育ちます。

軽運動の効果

1. 軽運動することで扁桃体で感じた信号も延髄で程よく吸収し、交感神経に行く信号を少なくします。
2. 呼吸（運動の基礎）をすることで副交感神経を高めることができます。循環がよくなり、免疫力がアップします。
3. 筋肉、関節、眼球運動（感覚）を使うことで情緒が安定し身体認知をすることで、程よいチャレンジができます。
4. 笑顔、太陽の光を浴びる、ウォーキング、ジョギング、スクワット、咀嚼などのリズム的な運動は、セロトニン（神経伝達物質で感情や気分のコントロール、精神の安定）を増やします。

集団の発達について ～母子の愛着関係から～

母との二者関係

- 妊娠した時から母と子の関係は始まる（母性愛）
- 母とは認知せずおっぱいとの関係（部分）
- 暖かいおっぱいと母が同じと認知するのが6～8か月
- 自分と母の区別、母に依存している感覚（おっぱい）を意識出来る
と見捨てられる対象喪失不安（8～9か月・分離不安）



自立への欲求の始まり

「程よい母」との関係が**愛着・基本的信頼関係**を育てます

父との三者関係の始まりは 生活の基本となる集団の始まり

- 父親に気づき始める…母の独占を許さない最初の第三者の出現
- 兄弟、親戚血縁関係の第三者
- 仲間関係、社会的な第三者
- 自分が、親になった時の保護、養育的三者関係



家族が「程よい環境」として働くとき
人の自立を支える基盤となる

基盤とならなかったとき、疑似家族を求め、
強いきずなを感じる暴力団や新興宗教にすぎるなどもある。

遊びと集団の発達（並行集団） 1歳半～2歳

- 母親から離れて一人遊び出来るようになると、他の子を見るようになる。
- 場を共有しているがそれぞれ思い思いに遊んでいる（並行あそび）
- 他の子が遊んでいる物が楽しそうに見えておもちゃの取り合い



他者との適切な距離の学びの芽生え

集団遊び（短期課題集団） 2歳～4歳

集団でのごっこ遊びが始まる。

集団遊びを通して人は自発性が育っていく。



ひとは、ひととの遊びを通して、自己中心的な自己愛を少しずつ修正し、自尊心を調節しながら他者と程よい関係を身に着けていく。

集団としてのごっこ遊びはメタ認知機能の成立と関連が深い

発達障害の方はメタ認知が育っていないことが多い

メタ認知とは…自分の思考や活動の是非、他者との違いをモニタリングし、矛盾や誤りに気づき、自発的に修正制御する事。幼児期後期から機能し始める。

年長さんになると、正常発達の子供たちが、あの子変だなと気づき始める時期です。

短期課題集団を経験しないと…

- 家の中で、おもちゃ、テレビ、大人と遊んで育った子は、自発性や適度な対人距離を身に着ける経験を持たないまま大きくなり、以後の発達の過程の様々な段階で支障をきたします。
- 幼い時の自然な仲間との遊びの欠如は、成長過程の欠如となり、未熟な対人関係につながります。
- 適度な対人ストレスと小さな失敗は人を成長させます。

おわりに

成人支援をされていて大事ななあと思う事

早寝、早起き、朝ごはん、排せつ(o^-^o)

生活リズムを整えましょう

笑顔、口角をあげましょう(^▽^)/

(セロトニンが分泌されます)

脳の活動状態を表す「覚醒レベル」

覚醒レベルの段階図

ハイテンション

・注意散漫で落ち着きが無く多動

正常値

・清明な意識があり集中力も十分に発揮

低下レベルⅠ

低下レベルⅡ

低下レベルⅢ

・寝る前の子が騒ぐように一見ハイテンションになりコントロール出来ない状況

・眠たくても寝れない赤ちゃんのようにぐずり泣きをしたりとても不機嫌

・まどろみ状態でほとんど反応がない

時間があつたら・・・

視覚とバランスについて的小話

発達障害の理解、啓発に役立つ 新刊DVD・書籍のご紹介

権利擁護と成年後見

～ネットワークを駆使した地域での取り組み～

【監修】上田 晴男（一般社団法人支援の思想研究会理事長）

形式: DVD 時間: 26 分
定価: 22,000 円 (税込)
2021 年 8 月 製作

権利擁護は言葉としてはその必要性は理解できるが、どのように実践されているのかは見えにくい部分があります。近年、成年後見制度利用促進法の下で、全国に権利擁護支援の拠点作りが「中核機関」と「地域連携ネットワーク」という形で進められています。

そうした中、この DVD では様々な実践、地域のそれぞれのニーズに対応している先駆的な取り組み、権利擁護支援が必要な人の状況とその支援ニーズにこたえる取り組み、方法としての成年後見制度の活用、そして共に地域で自分らしく暮らすことを支える支援の取り組み等 5 つの実践を紹介します。

【内容】

- Episode: 1 重症心身障害者のちえさんの場合(7 分)
- Episode: 2 認知症高齢者の秋山さんの場合(3 分)
- Episode: 3 知的障害のある A さんの場合 (6 分)
- Episode: 4 知的障害のある杉江さん「きょうだい」の場合(4 分)
- Episode: 5 精神障害のある谷さんの場合(4 分)



ことばの遅れが気になるなら

接し方で子どもは変わる

【著者名】古荘 純一（青山学院大学 教授・日本発達障害連盟理事）

発売日: 2021 年 08 月 26 日
定価: 1,540 円 (税込)
判型: B20 取 頁数: 102 頁

【発達障害を疑う前に】

うちの子はことばが遅い……という漠然とした不安に加え、1歳6ヵ月健診、3歳児健診でことばの遅れを指摘され、不安な気持ちに拍車がかかっていないでしょうか。誰にも相談できず、自分のせいではないか、と心を痛めている人も多いようです。

また、「発達障害」への関心が高まるにつれ、ことばの遅れをすぐに発達障害と結びつけるケースも増えています。原因探しに奔走し、発達障害の診断を急ぎ過ぎる傾向もみられます。そもそも子どもの発達過程には個人差があり、ことばの成長にも個人差が大きく影響します。とくに1～3歳ぐらいの子どもは、発達過程での個人差がとて大きく、ことばの遅れだけで発達障害を診断することは困難です。

本書では家庭での働きかけの大切さとともに、「ことばをはぐくむ接し方」や、発語の土台となる「感覚遊び」など具体的な方法を紹介、「ことばの遅れ」をどう受け止め、子どもとどう向き合い、どのように働きかけたらよいかをお伝えします。

【本書の内容構成】

プロローグ／自分を責めないで。発想を変えてみよう

- 1／「ことばの遅れ」ってどういうこと？
- 2／接し方を変えてことばを育てよう
- 3／感覚遊びを発語につなげよう
- 4／特性をとらえ子どもの幸福感につなげよう

イラストが多く使われており、とてもわかりやすい一冊です！



発達障害白書 2022年版

【編集】（公社）日本発達障害連盟

発売日：2021年09月15日
定価：3,300円（税込）
判型：B5 頁数：216頁

特集1では、新型コロナウイルスがもたらした多様な影響を扱う。発達障害児への心理的影響、教育現場や社会の変化、障害者福祉施設の状況、地域福祉の課題等を取り上げる。特集2では、少子化問題を障害者福祉の観点から考察する。

◆第1部 特集

1 新型コロナと多様な影響

Section1 コロナ禍における教育と社会 Section2 コロナ禍と地域福祉の状況

2 少子化とその対応

◆第2部 各分野における2020年度の動向

第1章 障害概念

第2章 医療

第3章 子ども・家族支援

第4章 教育：特別支援学校の教育

第5章 教育：小・中学校等での特別支援教育

第6章 社会参加

第7章 住まい

第8章 地域での暮らし

第9章 労働

第10章 権利擁護／本人活動

第11章 文化・社会活動

第12章 国際動向

◆第3部 資料

1 年表

2 統計

3 日本発達障害連盟と構成団体名簿

あとがき



DVD・書籍【ご注文書】お申込 FAX：03-5814-0393 E-mail：book@jldd.jp

下記ご記入の上、FAXにてお送りください。E-メール、ホームページからのご注文も可能です。

DVD・書籍名		販売価格 (税込)	注文数
権利擁護と成年後見		22,000円	
ことばの遅れが気になるなら		1,540円	
発達障害白書 2022年版		3,300円	
お申込み者名	※日本発達障害連盟の賛助会員は5%割引 会員（有・無）	送料及び 振込手数料	※DVDご購入の場合、送料無料 ※振込手数料は注文金額が ¥10,000以上の場合、連盟で負担 させていただきます
お届け先住所	〒 -		
請求書宛名 (お申込み者名と異なる場合、ご記入下さい)		電話	

連盟書籍
販売サイト



お支払い方法：郵便局の振込用紙を同封いたします。ホームページからお申込みいただけます。
請求書に記載のゆうちょ銀行、三菱UFJ銀行もご利用いただけます。
ホームページからのご注文の場合、クレジット決済もご利用いただけます。